

## ■講評

最優秀賞『優しい光に包まれて』武田 浩さん（宮城県富谷市）

複雑な色で構成されるスターマインの輝きを、丁寧に切り取りました。タイトル通り、この花火の特徴である中間色が非常によく再現されており、また星の重なりも美しく、見事なシャッターのタイミングでした。煙も、大会当日の雰囲気や伝えつつ、色彩にも合った柔らかくで幻想的な画面の効果になりました。

優秀賞 『実りの刻』石田 亜希さん（宮城県仙台市）

スターマインのダイナミックな輝き、星の重なりを、適切なタイミングで捉えています。微妙にアシンメトリーな構図によって、会場を揺るがすような花火の勢いが伝わってきます。丁寧な画面構成とともに、今もフィルムを使っているのでしょうか、独特の色味が他の写真とは一線を画した作品となっています。

優秀賞 『芸術映やす桜川』亀田 幸智 さん（青森県青森市）

栈敷席からならでの「花火師登場！」のシーンを、土浦の風景も入れながら切り取りました。画面いっぱいに入花火が入り、さらに水面のリフレクションまで広くとり込んだことで、情報量が多く、非常に個性的ですてきな写真になりました。これからも土浦の花火の、あっと驚くような写真を撮っていただきたいです。

優秀賞 『彩り』坂本 純一 さん（埼玉県鴻巣市）

彩色千輪の咲き乱れるシーンを狙って、シャッタースピードも長く撮影し、光の軌跡をうまく捉えることができました。千輪以外の星の重なりも加わって、勢いのある面白い構成となりました。ホワイトバランスも適切で、明暗もある美しい写真です。

入 選 黄金郷への誘い 岡 広樹 さん（愛知県江南市）

ワイドスターマインだけでなく、その輝きに照らされた地上を広く取り込んで撮影したことで情緒が生まれました。人々の背中をしっかりと写したことで、花火を見つめている人たちの気持ちまでが伝わってくるような写真です。

### 入 選 『 蒼 』

助川 大悟 さん（茨城県行方市）

土浦の町と花火、双方の輝き、そして湖のリフレクションを遠くから映し取りました。青い色調も幻想的で、水郷土浦ならではの花火写真です。シャッターのタイミングをもう少し狙えば、さらに良い写真になりそうです。

### 入 選 『 彩り満開 』

西岡 幸次 さん（京都府久世郡久御山町）

タイミングにこだわって、シャッタースピードを長くしたことで、まるで蝶が舞うような軌跡をうまく捉えています。ホワイトバランスも適切で、明暗もしっかりとあり、よくまとまった美しい写真です。

### 入 選 『 彩花の煌めき 』

八田 和香 さん（千葉県松戸市）

彩色千輪だけの繊細な軌跡を、シャープにしっかりと捉えた一枚です。ホワイトバランスも適切で、この花火の特徴である複雑なパステルカラーの色調をよく写し出せており、きれいな写真です。

### 入 選 『 晩秋の土浦 』

帆苺 翔 さん（長野県松本市）

会場の全体の雰囲気もうまく写し込みながら、鮮やかな赤系のスターマインの輝きを捉えました。さらにシャッターのタイミングにこだわっていけば、もっと勢いや輝きが増す写真になりそうです。

### 佳 作 『 土浦の夜空を照らす大輪の花 』

荒木 隆史 さん（群馬県太田市）

いつもと違う場所から撮影にチャレンジしたとのこと。自転車でロケハンしたという効果が、さっそく開花したすばらしい写真です。市内を一望するこの写真は、いったいどこから撮ったのかな、と想像しながら楽しく拝見しました。10号玉も多重芯をしっかりと捉えており見事でした。またいろいろな土浦の花火を見せてください。

佳 作 『 天空交響曲 』

乾 知宏 さん（栃木県宇都宮市）

迫力のあるワイドスターメインと棧敷席の人々を写し、大会の雰囲気映し出してくれました。タイトルも個性的で、花火大会をオーケストラに見立てた想像力が面白いです。感度や絞りをもっとこだわってみると、さらに面白い写真が撮れるかもしれません。

佳 作 『 夜空に浮かぶ花束 』

上田 龍太郎 さん（静岡県伊豆の国市）

彩色千輪を狙って撮影した一枚。会場の雰囲気も取り込んで、タイトル通り華やかな写真になりました。シャッターのタイミングをもっと狙っていくと、千輪もさらに輝いて撮れそうです。

佳 作 『 炎の火蓋 』

河野 千春 さん（埼玉県南埼玉郡宮代町）

「花火師登場！」のシーンで2年連続の入賞ですね。力強い花火の下に浮かび上がる花火師たちの凛々しい姿に焦点を当てて撮りました。競技花火だけではない、土浦の花火大会のさまざまな楽しさを伝えてくれる大切な一枚です。

佳 作 『 二人だけの虹色の花 』

鈴木 隆宏 さん（栃木県河内郡上三川町）

霞ヶ浦湖畔の夜景、花火の光にうっすらと浮かび上がる二人のシルエット。花火を楽しむ人々の姿をやさしく捉えたすてきな一枚です。一つ一つのビルの輝きも美しく、そこにもまた、花火を見ている人たちがいるのだな、と想像することができる写真でした。

佳 作 『 燃ゆる秋・土浦 』

高瀬 駿 さん（茨城県土浦市）

湖畔に浮かび上がる大迫力のワイドスターメインを、望遠レンズでうまく撮影できました。単色の花火に照らされたビルのシルエット、輝く湖面、そして花火のタイミングと、三つがよくマッチして情感があり、個人的には、今回の佳作作品の中でも好きな写真でした。またぜひ難しい撮影に挑戦してください。

佳 作 『土浦ブルー』

高津 弘人 さん（神奈川県伊勢原市）

ワイドスターメインと共に、花火を見つめるたくさんの人々も写し込んだ、土浦の花火大会らしい一枚です。ワイドスターメインの青い花火の発色と繊細な光跡、星のきらめきをうまく捉えています。

佳 作 『土浦錦づくし』

八田 淳 さん（千葉県松戸市）

人がたくさんいる栈敷席で撮影するのは、直近で花火が見られる反面、撮影の制約も多くて難しいと思いますが、ワイドスターメインの迫力のある一枚が撮れました。人々の動きも入って、当日の熱気が感じられる一枚になりました。

佳 作 『桜川畔 絢爛に染まる』

古川 靖史 さん（埼玉県朝霞市）

ワイドスターメインを縦に切り取りました。非常に細い光跡、星のきらめきが、とてもきれいにまとまった写真です。土浦のワイドスターメインは大迫力だけでなく、幻想的で、優美さもある、ということをお出しさせる写真でした

佳 作 『虹色シャンデリア』

三和田 恵 さん（東京都府中市）

明暗がはっきりとある引き締まった画面の中に、人気のあるパステルカラーの花火をうまく捉えました。もう少しシャッターのタイミングを狙うとさらに良い写真になりそうです。